

第 67 回小野派糸東流日本空手道明倫会選手権大会試合要領(改定)

試合要領 競技は全日本空手道連盟競技規定・審判規定及び小野派糸東流明倫会申し合わせ事項に基づいて実施する。

待機時、競技中のマスクの着用を認める。(任意)

メガネ・コンタクトの禁止。ソフトコンタクトは個人の責任で使用を認める。

主催者は選手が競技で負傷した場合、応急処置以外はいたしません。

組手試合

赤・青の拳サポータ（幼児・小学生はリバーシブルも可）、
メンホー及びボディプロテクター着用、男子は金的サポータ着用のこと、
着用せずに攻撃を受け負傷した場合は失格とする。

マウスシールドの着用を認める。(任意)

インステップガード、シンガードの着用を認める。(任意)

なお、組手試合時間および得点ポイント数の設定については以下のとおりとする。

種 目	ポイント(先取)	試合時間
幼児男女	4 ポイント	1 分間 (フルタイム)
小学生・中学生・マスターズ男女	6 ポイント	1 分間 (フルタイム)
高校生・一般男女	6 ポイント	1 分 30 秒間 (フルタイム)

試合終了時に同ポイントの場合は先取した選手が勝ち、先取が無い場合、一本の数、技ありの数が同数の場合は判定により勝敗を決定する。

形試合

審判員 5 名の旗判定方式を採用する。

全試合、原則 2 名同時に演武をおこなう。

幼児の部は基本形または全空連基本形をおこなう。(連続可)

小学生段外の部は全空連基本形をおこなう。(連続可)

小学生有段の部は準決勝戦までは全空連基本形、

決勝戦は連続しない指定形を含む自由形をおこなう。(連続不可)

中学生段外の部は全空連基本形をおこなう。(連続可)

中学生有段の部は準決勝戦までは全空連基本形、

決勝戦は連続しない全空連基本形・指定形を含む自由形をおこなう。(連続不可)

高校生・一般段外の部は全空連基本形をおこなう。(連続可)

高校生・一般有段の部は準決勝戦までは全空連基本形・全空連第一・第二指定形、
決勝戦は連続しない全空連基本形・指定形を含む自由形をおこなう。(連続不可)

マスターズ段外の部は全空連基本形をおこなう。(連続可)

マスターズ有段の部は準決勝戦までは全空連基本形・全空連第一・第二指定形、
決勝戦は連続しない全空連基本形・指定形を含む自由形をおこなう。(連続不可)

明倫会事務局長 村田 茂
明倫会事務局次長 田頭 史信